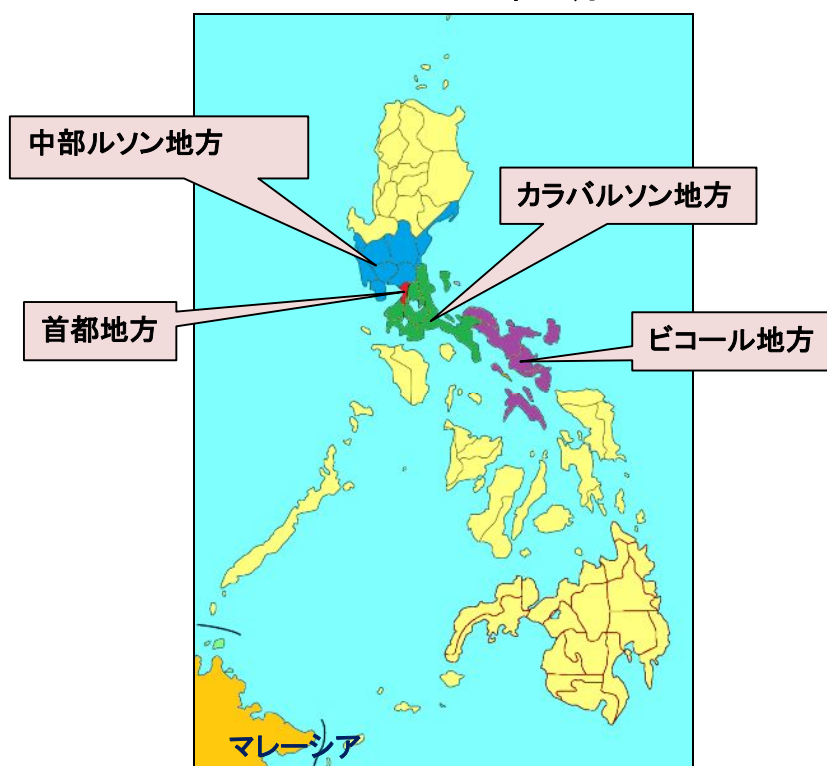


フィリピンで麻疹が流行

2010年5月23日 ProMED 情報(Malaya)



同国保健省疫学センターの報告によれば、1月1日から4月10日までで1,794名の麻疹患者数が確定診断されました。2009年の同期の患者数はわずか368名でした。

麻疹患者のほとんどは、首都地方 National Capital Region(967名)、カラバルソン Calabarzon 地方(268名)、中部ルソン Central Luzon 地方(105名)、ビコール Bicol 地方(101名)で見つかりました。

死亡患者数は去年は3名だけでしたが、今年最初の3.5カ月では8名、そのうちの5名が12カ月未満、2名が1～4歳、1名が10～14歳でした。

確定診断患者の他に、1,228名が検査中です。

〔ProMED 調整者〕

1990年まで、フィリピンは太平洋地域で最も患者発生数が多い国のひとつでした。1990年以降はワクチン接種率の向上により患者数は著しく減少し、2004年7月～2006年12月には、患者の報告はありませんでした。しかし、その後、財政上の制約に起因する接種活動の弛緩から患者が再び増加してきました。